

- ① 医学部5年生のシミュレーション教育 (BSL特集1)
 - ・救急対応
 - ・消化器内視鏡
 - ・呼吸器内視鏡
 - ・創処置
- ② 利用者統計
- ③ H25年度 主な研修会
- ④ センター長から
- ⑤ 交通案内・利用方法 など



愛知県地域医療再生計画により設立された、名古屋市立大学病院臨床シミュレーションセンターは、新生児医療、周産期医療、救急医療の3領域の研修を通じて地域の医療安全の確保とチーム医療の向上を目指します。

医学部ベッドサイドラーニング(BSL)特集1

救急患者診療 シミュレーション教育

救急部では、数年前より、医学部5年生の臨床実習(BSL)において、「救急患者の診療の診かた」と題して、シミュレーション教育法を用いた実習を行っております。

4年生までの講義では、主に医学知識の修得、すなわち知識の「インプット」が中心でしたが、救急患者を診療するにはインプットした知識を基盤にして、臨機応変に状況に応じた「アウトプット」をする必要があります。その「アウトプット」の訓練の手助けとして、高機能シミュレーター人形「3G SimMan」を患者に見立て、多様な症例を提示しながら、救急患者を診療する上で重要な考え方、診察の手順、診



増田 和彦先生
救命救急センター



察の方法、そしてときには治療までを行います。

このシミュレーター人形は様々なバイタル所見を操作して液晶画面にてモニタリングすることができますので、実際の救急処置室での診療に近い形で実習を行うことが可能です。提示する症例につきましては、救急処置室で経験した症例をいくつか取り上げ、電子カルテを用いて

血液検査や画像検査などの検査結果も含めて提示しております。とくに、救急外来で見逃すと心肺停止に至る可能性がある症例、診察開始時から呼吸循環の状態がよくない症例、さらに診察途中で呼吸循環の状態が悪化する症例などを中心に実習を行います。実習時は、知識の一方的な提示にならないように、まずは学生同士でディスカッションすることを促し、学生自ら「考えて」そして「気づいて」もらい、さらにもっと救急を勉強したい、救急医療に興味を湧かした、と思ってもらえるよう心がけております。

心肺蘇生に関する救命処置法のシミュレーション教育は10年程前から行っておりますが、このように心肺停止ではない救急患者のシミュレーション教育はまだ経験年数が浅いため、今後も、教育手法も含め、実習の進め方を工夫して、学生が効果的なシミュレーション教育を受けられるようにしたいと考えております。



消化器内視鏡 シミュレーション教育

消化器内視鏡検査は、消化器病疾患の診断・治療には欠かせない重要な検査です。内視鏡シミュレーターは、内視鏡検査のトレーニングを安全に行うために開発されたシステムで、人体データから得た3次元コンピュータイメージをベースに構築され、内視鏡画像はもとより、音声、抵抗、振動による被検者の生体反応までもがリアルに再現されています。



久保田 英嗣先生
消化器内科



当科では、この内視鏡シミュレーターを学生の講義・臨床実習に導入しています。これまでの内視鏡実習は、胃の模型を用いて行われてきましたが、その再現性には限界があり、実際の内視鏡検査とは程遠いものでした。一方、内視鏡シミュレーターでは、臨場感あふれる検査環境を体験することができます。

講義では、まず内視鏡の構造、機能、操作法を説明し、その後、学生に内視鏡シミュレーターを体験してもらっています。この実習では「内視鏡検査の体験」ということに重点をおいて指導にあたっていますので、実習時間内にすべての学生がシミュレーターに挑戦できるように心がけています。「思っていたよりも難しかった」、「とても腕が疲れた」、など多くの学生がシミュレーターに苦戦させられていますが、なかには内視鏡医にも劣らないと思わせるほどの腕前の学生もいます。



直に患者さんに内視鏡を行うことができない学生にとって、内視鏡シミュレーションシステムは安全に貴重な体験ができるツールです。多くの学生が積極的に、興味を持って実習に取り組んでいる姿を目の当たりにし、内視鏡シミュレーターによる臨床実習の効果を日々実感しています。



平成25年度 センター利用者数

(単位：名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計
全体	1,390	1,289	1,368	1,074	856	613	1,113	7,703
うち学外	156	291	560	472	122	318	396	2,315
利用件数	53	61	59	52	27	44	58	354

平成25年度 主な研修会

AHA BLS・PALS講習会 桜山・愛知医大合同ICLS講習会 愛知県医師会BLS講習会
 新生児蘇生法講習会 愛知県助産師研修会 学びなおし講座 薬学GP 看護部各種研修会
 研修医研修(他病院含む) 固有職員研修など。

呼吸器内視鏡 シミュレーション教育

アキュタッチは内視鏡検査シミュレーターで、上・下部消化管内視鏡と気管支鏡検査に対応しています。バーチャル画像をみながら内視鏡を操作するのですが、操作感を実際の検査に携わる我々も納得できるもので、手順を誤ると咳こんだり、バイタルが変化するなど検査の臨場感を味わうことができます。アキュタッチは若手



医師のトレーニングの目的で使用されることが多いかと思いますが、今年度から医学部5年

生の臨床実習に取り入れさせて頂きました。気管支鏡検査見学の時間割の最後に、30分程アキュタッチを体験してもらっています。装置の前に立つと、検査見学の際にはやや固かった学生たちの表情がいきいきとする印象で、多くの学生が前向きに取り組んでくれています。直前に見学した検査手技を自ら体験できることも、将来医師となる学生達にとってモチベーションになっているのではないかと感じています。

気管支鏡検査の実習では、手技に対する理解とともに下気道の解剖学的理解を深めることも目標としています。そこで、気管支鏡検査見学後と更にアキュタッチ実習まで行った後に分けて確認テストを行ってみました。まだそれほど多く検討できたわけではありませんが、今のところアキュタッチ後の方で点数が高く、アキュタッチ実習が単に検査体験だけでなく学習効果にもつながっていると考えています。

手さぐりで始めた実習ですが、臨床シミュレーションセンターの皆さまのお助けを頂き半年間続けることができました。この場をお借りして感謝申し上げます。学生の意見も取り入れつつ、今後も継続していきたいと思いますので引き続きご指導ご支援の程をよろしくお願い申し上げます。



高桑 修先生
呼吸器内科



笹野センター長から一言

今号では、医学部5年生の病院実習ベッドサイドラーニング(BSL)におけるシミュレーション教育の一部を特集し、担当いただいている教員の方に、執筆をお願いしました。10年前には予想しなかった教育が展開されており、時代の流れを感じます。今後は、この教育を、確実に、患者さんおよび医療従事者の医療安全に繋げていくことが課題であると考えます。

学生教育、研修医教育と続く流れの中で、若い医療従事者は、まず、医療現場と離れた場所での Off the job training を経験します。そして最終的には、医療現場での On the job training を受け優秀な医療従事者に育ちます。当センターの役割は、この成長過程をお手伝いすることで医療安全の確保に貢献することだと考えています。

創処置 シミュレーション教育

現在皮膚科では臨床シミュレーションセンターの施設を利用させていただき、医学部5年生のBSL実習の1グループに1回、1時間で縫合実習をおこなっています。

学生が研修医になって、救急外来を含め診療をするようになったとき、外傷の患者



さんを診察する機会が訪れます。

この実習では、創をみた場合に、洗浄・デブリードマン等を含めた処置をした後に行う、特に小さめ

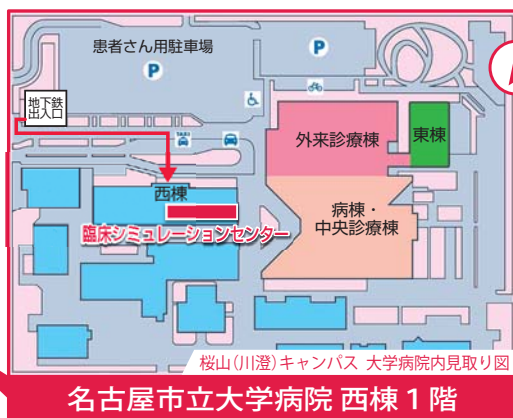
の傷で多用される機械縫合を、スキンモデルを使用して練習しています。学生の皆さんも最初は肩に力が入っていますが、1時間終了後には、肩の力もぬげ、少し縫合もできるようになり、自前の縫合セットを使用して自宅で練習する気持ちになってくれていると(勝手に)思っています。このようなスキンモデルが簡単には手に入らなかったころには、食器洗い用スポンジや布テープ、鶏肉などで練習をしていたことを思うと、とても良い器材が利用できるこのような環境は、なくてはならないものとなってきていると考えます。

今後も臨床シミュレーションセンターを活用して学生・研修医教育をふくめ、皮膚科的な立場から医療技術の向上と医療安全の確保にむけた取り組みを行っていききたいと思います。



新谷 洋一先生
皮膚科

交通案内



[交通機関]

地下鉄 桜通線「桜山」駅下車
3番出口

市バス 金山7番のりばより
金山12「市立大学病院」下車
金山8番のりばより
金山14「市立大学病院」下車

(一般用駐車場がありませんので、公共交通機関でお越し下さい)

利用方法

- ・ホームページ(URL <http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/simncu/index.html>)より**利用申請書・不動産一時貸付申請書**をダウンロードしてFAX、郵送または受付まで持参していただけますと、センターで利用許可証を発行します。
- ・使用予定日の6ヶ月前の月の最初の平日よりお申し込みいただけます。
- ・特にセンターの設立目的に合った利用のみは6か月以上先の予約でも受け付けます。従って、第1受付日でも既にお申し込みいただけない日ができる場合がございます。ご注意ください。最新の施設空き状況は、お電話にてお問い合わせください。
- ・使用目的、使用計画などをお知らせいただきセンター設立目的に合わないものは利用をお断りすることがございます。詳しくは、センターホームページをご覧ください。か、**センター事務室までお問い合わせください。**
- ・敷地内及び周辺道路における禁煙を実施しています。

受付時間

月-金 9時から17時(祝日除く)

vol.6
(2013.12)

発行：名古屋市立大学病院臨床シミュレーションセンター

電話 052-853-8429 FAX 052-853-8436

E-mail simncu@med.nagoya-cu.ac.jp URL <http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/simncu/index.html>